

# 平成28年度継続課題に係る継続評価書

研究機関 : (株)リクルートライフスタイル、(株)リクルートコミュニケーションズ、(株)ATR-Trek

研究開発課題 : グローバルコミュニケーション計画の推進 —多言語音声翻訳技術の研究開発及び社会実証—  
II. 多言語音声翻訳の利活用に関する開発・実証

研究開発期間 : 平成27～29年度

代表研究責任者 : 佐々木 康太郎

■ 総合評価 : 適

(評価点 18点 / 25点中)

## (総論)

実証実験の予定50店舗に対し150店舗であり、目標をはるかに越えた目標達成を評価したい。

実証実験で明らかになった問題は、本課題の守備範囲に含まれないものも含めて報告してもらいたい。

## (コメント)

- 実証実験の予定50店舗に対し150店舗であり、目標をはるかに越えた目標達成を評価したい。
- 実証実験で明らかになった問題は、本課題の守備範囲に含まれないものも含めて報告してもらいたい。関連する研究開発に有用なデータとなる可能性がある。

(1) 当該年度における研究開発の目標達成(見込み)状況及びアウトカム  
目標の達成に向けた取組みの実施状況

(5～1の5段階評価) : 評価4(評価点)

(総論)

実証実験の予定50店舗に対し150店舗であり、目標をはるかに越えた目標達成を評価したい。

NICT で進められているプラットフォームやカスタマイゼーション、認識・翻訳誤り対策について情報交換を行い、役立てていってほしい。

(コメント)

- アプリをかなり頻繁に更新している。
- 採択時のコメントを受けて、実証実験の運営を考慮して目標を再設定した。
- 実証実験の予定50店舗に対し150店舗であり、目標をはるかに越えた目標達成を評価したい。
- NICT で進められているプラットフォームやカスタマイゼーション、認識・翻訳誤り対策について情報交換を行い、役立てていってほしい。

(2) 当該年度における研究資金使用状況

(5～1の5段階評価) : 評価3(評価点)

(総論)

実施状況に基づき見直しを行いつつ、予定通りの使用がなされている。

(コメント)

- 実施状況に基づき見直しが行われている。
- アプリ導入後のユーザーの反応に基づきUI/UXの機能追加を行った。
- 予定通りの使用がなされている。

### (3) 研究開発実施計画及びアウトカム目標の達成に向けた取組み

(5～1の5段階評価) : 評価4(評価点)

#### (総論)

各技術(翻訳とインタフェース)の相互作用によるポジティブフィードバックを期待したい。  
翻訳精度伝達機能と単語翻訳機能は本課題の特徴となる機能であり、その成果に期待する。

#### (コメント)

- 説明会を実施した結果、協力が得られている。
- (再掲)アプリを頻繁にアップデートしている。
- UI/UX に関してかなりていねいなフィードバックを行っている。
- 音声翻訳アプリで解決できない課題を含めて調査しているのは有用なデータである。
- 使用方法の工夫、説明会開催をはじめとする努力がみられ、良好な実験実証が円滑に進められている。
- 各技術(翻訳とインタフェース)の相互作用によるポジティブフィードバックを期待したい。
- 平成 28 年度に実施する翻訳サポート機能の開発は、翻訳精度伝達機能と単語翻訳機能を含む。いずれも本課題の特徴となる機能であり、その成果に期待する。

### (4) 予算計画

(5～1の5段階評価) : 評価3(評価点)

#### (総論)

今年度の状況に基づき、成果を反映して予算計画を効率的に調整している。

#### (コメント)

- 今年度の状況に基づき、見直しが行われている。
- 経費の一部を受託者が負担している。
- 本年度に実施した成果を反映して予算計画を効率的に調整している。

## (5) 実施体制

(5～1の5段階評価) : 評価4(評価点)

### (総論)

音声翻訳技術とインタフェースがうまくかみ合うような体制ができている。今後もより緊密な連携を保って進めて欲しい。

各アプリケーション固有の課題に対し不足している技術に対する対応策を考えられる体制を作ってほしい。

### (コメント)

- 研究開発体制を一部変更した。
- 音声翻訳技術とインタフェースがうまくかみ合うような体制ができている。今後もより緊密な連携を保って進めて欲しい。
- 各アプリケーション固有の課題に対し不足している技術に対する対応策を考えられる体制を作ってほしい。